

平成 25 年 11 月 7 日

各 位

会 社 名 東邦ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 濱田 矩男
(コード番号 8129 東証第一部)
問合せ先 取締役コーポレート・コミュニケーション室長
兼 経営企画室長 加藤 勝哉
(電話 03-5259-9520)

平成 26 年 3 月期第 2 四半期業績結果について

当第 2 四半期の医療用医薬品市場は、継続的な薬剤費抑制政策の影響はあるものの、高齢化の進展、新薬などの販売のプラス要因もあり、緩やかながら安定成長を続け、前期比 2.7% (クレコンリサーチ & コンサルティング株式会社推計) の伸長となりました。このような状況のもと、当社グループは本年 6 月に発表した中期経営計画「全ては健康を願う人々のために 14・16」の達成に向けて、医薬品卸売事業においては当社独自の顧客支援システムを競争優位として、新たなサービスメニューを提案するなど、提案型の営業活動を強力に推進することにより、医療機関との関係強化を図ってまいりました。また、総価取引・薬価差問題、未妥結・仮納入などの流通課題の改善に注力いたしました。調剤薬局事業においては業容の拡大と経営の効率化、高付加価値化に取り組みました。

その結果、当第 2 四半期連結累計期間の業績は、売上高 579,175 百万円 (前年同期比 4.1%増、上期計画達成率 100.6%)、営業利益 5,298 百万円 (前年同期比 10.3%減、同達成率 101.9%)、経常利益 8,387 百万円 (前年同期比 2.9%減、同達成率 103.5%)、四半期純利益 4,914 百万円 (前年同期比 4.5%減、同達成率 104.6%) となりました。

なお、従来「営業外費用」の区分に表示しておりました「仮払消費税の未控除損失 (控除対象外消費税等)」につきましては、第 1 四半期連結会計期間より「販売費及び一般管理費」の区分に表示する方法に変更いたしました。そのため、前年同期比較にあたっては、前年同期数値について組替え後の数値に基づき算出しております。

1. 平成 26 年 3 月期第 2 四半期業績（連結）

(1) 前年同期比

単位：百万円、%

連結	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
当第 2 四半期	579,175	5,298	8,387	4,914
前第 2 四半期	556,184	5,907	8,640	5,145
前年同期比増減額	22,990	△ 609	△ 252	△ 230
前年同期比 (%)	104.1	89.7	97.1	95.5

(2) 第 2 四半期累計業績予想比

単位：百万円、%

連結	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
当第 2 四半期	579,175	5,298	8,387	4,914
第 2 四半期業績予想	576,000	5,200	8,100	4,700
第 2 四半期業績予想達成率 (%)	100.6	101.9	103.5	104.6

(3) 通期業績予想比

単位：百万円、%

連結	売上高	営業利益	経常利益	四半期（当期） 純利益
当第 2 四半期	579,175	5,298	8,387	4,914
通期業績予想	1,181,000	14,700	20,400	11,600
通期業績予想比 (%)	49.0	36.0	41.1	42.4

2. 平成 26 年 3 月期通期予想について

通期業績予想については、平成 25 年 5 月 10 日発表計数に変更はありません。

以 上